

日本たばこ産業

JAPAN TOBACCO INC.

業種 たばこ・加工食品
現在株価 ¥7,132 (2026-08-14)
時価総額 約 12.7 兆円
作成日 2026年8月16日
作成者 桃太郎コーポレーション CIO

As of 2026-08-14 Close | Last Earnings 2026.07.30

投資判定

BUY

76.0 / 100

長期 高配当・段階的エントリー検討

目標株価 ¥7,620 (上昇余地 +6.8%)

推奨

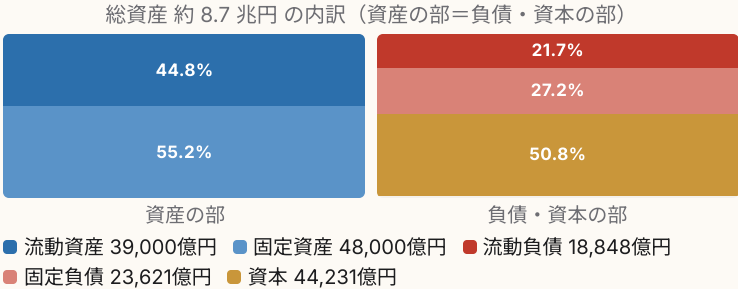
中間営業利益+29.0%・純利益+35.0%、為替一定ベースでも+19.4%と本業堅調。

最新決算財務三票 | 2026年12月期 第2四半期（中間期）（2026年7月30日発表）

P&L 損益計算書 通期（IFRS）			
項目	FY2025実績	FY2026予	増減
売上収益	3兆4,689億	3兆8,850億	+12.0%
粗利益	約2兆431億	約2兆2,883億	+12.0%
営業利益	8,667億	1兆80億	+16.3%
親会社帰属当期利益	5,103億	6,440億	+26.2%
EPS	287.42円	362.74円	+26.2%
PER	24.8倍	19.7倍	—

医薬事業譲渡後の継続事業ベースでも増収増益。価格改定と為替が牽引し通期を上方修正。

BS 貸借対照表（2026中間期期末）	
項目	2026中間期
総資産	約 8.7 兆円
有利子負債	1兆6,768億円
自己資本比率	50.7%
BPS（1株純資産）	2,474.86円



中間期末の親会社帰属持分比率50.7%と財務は健全。のれん2.99兆円が資産の中核。

CF キャッシュフロー（2026中間期）	
項目	2026中間期
営業CF	+3,313 億円
投資CF	▲ 584 億円
財務CF	▲ 2,782 億円
フリーキャッシュフロー	+2,729 億円

中間期営業CFは3,313億円と前年同期比ほぼ倍増。財務CFは配当等で▲2,782億円。安定したたばこ事業のCF創出が続く。

↓ 2026年12月期 第2四半期（中間期）実績（2026年1月1日～6月30日）

売上収益

1兆9,861億

前年同期比 +17.7%

営業利益

6,449億円

前年同期比 +29.0%

調整後営業利益

6,617億円

前年同期比 +26.2%

税引前中間利益

6,060億円

前年同期比 +32.4%

親会社帰属中間利益

4,318億円

前年同期比 +35.0%

EPS

243.24円

前年同期比 +35.0%

通期計画 進捗率（FY2026（2026年12月期） | 受注見通し → 売上・利益とも通期業績予想を上方修正）

売上収益 進捗率

51.1%

1兆9,861億円 / 3兆8,850億円

営業利益 進捗率

64.0%

6,449億円 / 1兆80億円

純利益 進捗率

67.1%

4,318億円 / 6,440億円

調整後営業利益 進捗率

63.9%

6,617億円 / 1兆350億円

実績PER24.8倍・予想PER19.7倍・PBR2.88倍と成長と高配当を踏まえ妥当圏。

投資重要指標

バリュエーション（重要指標）

PER（実績）：24.8倍 | PER（予想）：19.7倍 | PBR：2.88倍

PER（実績）

24.8倍

7,132円 ÷ FY2025 EPS 287.42円

PER（FY2026予想）

19.7倍

7,132円 ÷ 予想EPS 362.74円

PBR

2.88倍

7132円 ÷ BPS 2,474.86円
最新四半期 親会社所有者帰属持分ベース

配当利回り

3.81%

FY2026予想配当 272円 ÷ 7,132円

資本効率・収益性（重要指標）

ROE：12.5%（FY2025） | 営業利益率 25.9%（FY2026予）

ROE（FY2025）

12.5%

高水準を維持

ROA（総資産利益率）

7.4%

当期純利益 ÷ 総資産

営業利益率（FY2026予）

25.9%

たばこ事業の高収益

粗利率

58.9%

売上総利益 ÷ 売上

還元余力・キャッシュ創出（重要指標）

配当性向・FCF利回り・債務償還年数から株主還元の持続力を見る

配当性向

75.0%

1株配当 ÷ EPS

FCF利回り

4.3%

FCF ÷ 時価総額（中間期CFを年換算）

FCFマージン

14.0%

FCF ÷ 売上（中間期CFを年換算）

債務償還年数

2.5年

有利子負債 ÷ 営業CF（中間期CFを年換算）

ネット有利子負債

1.33 兆円

有利子負債 - 現金同等物

時価総額

約 12.6 兆円

2026.8.16時点

株価は1年で+49.9%、52週高値7,218円からは▲1.2%の水準にある。

過去5年業績推移・実株価チャート



指標	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25
売上収益	2.32兆	2.66兆	2.84兆	3.14兆	3.47兆
営業利益	5,800億	6,538億	6,548億	6,596億	8,667億
親会社帰属利益	3,384億	4,427億	4,847億	4,682億	5,103億

株価推移（2025-08-15～2026-08-14）

データ定義：日次終値ベース（配当調整前・auto_adjust=False）

現在値

¥7,132

2026-08-14 終値

1年前株価

¥4,759

2025-08-14 終値

1年騰落率

+49.9%

4,759円→7,132円

52週高値比

▲1.2%

高値7,218円
(2026-07-31)

52週安値比

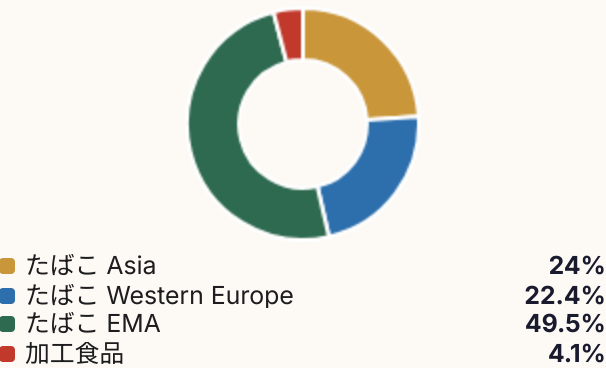
+53.3%

安値4,652円
(2025-09-04)

西欧・EMAの高採算たばこ事業が利益を牽引、加工食品は低採算。

事業内容・セグメント別実績

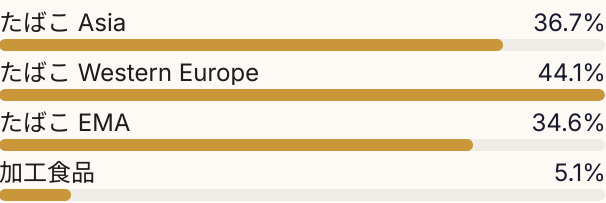
売上構成比



FY2026 営業利益（予）
1兆80億円
前期比+16.3%（継続事業）

海外たばこ売上比率
約77%
EMA・西欧が利益の中核

セグメント別 事業利益率



セグメント別 実績（2026中間期・クラスター/事業別）

たばこ Asia
売上 4,575億円
事業利益 **1,678億円（36.7%）**
FY26: 日本の加熱式拡大と価格改定で収益改善

たばこ Western Europe
売上 4,273億円
事業利益 **1,885億円（44.1%）**
FY26: 高採算市場で最高水準の利益率を維持

たばこ EMA
売上 9,436億円
事業利益 **3,267億円（34.6%）**
FY26: 新興国需要と価格戦略が牽引・ロシアは注視

加工食品
売上 792億円
事業利益 **41億円（5.1%）**
FY26: 冷凍食品中心に堅調・利益率は低位

主力製品・競争優位

グローバルたばこ（JTI）
世界有数の国際たばこ大手。西欧・EMA・アジアに広く展開し、価格決定力を背景に高い利益率を確保。為替一定ベースでも中間+19.4%成長。

加熱式たばこ Ploom
次世代製品（RRP）Ploomの拡販を推進。紙巻の数量減を補う成長領域として日本・欧州で投資を継続。

加工食品
冷凍・常温加工食品や調味料を製造・販売。収益規模は小さいが安定収益源。利益率改善が課題。

高配当・資本規律
配当性向75%目安の株主還元方針。FY2026は272円へ増配予定で、安定したたばこ事業CFが原資。

★ **競争優位の源泉**

- 世界有数の国際たばこ大手として高い価格決定力を保有
- 西欧・EMAの高採算市場が利益の中核を形成
- 安定したCFを背景に配当性向75%目安の高配当を継続

参入障壁は高いが規制と喫煙率低下が構造的圧力。RRPと価格改定が機会。

競争環境（ファイブフォース・SWOT）

ファイブフォース分析（根拠付き）



SWOT分析（各1～2行）

S — 強み (Strengths)

- 世界有数の国際たばこ大手で高い価格決定力
- 西欧・EMAの高採算市場が利益を牽引
- 財務健全（親会社帰属持分比率50.7%）
- 配当利回り3.81%・配当性向75%目安の高還元

W — 弱み (Weaknesses)

- 紙巻たばこの数量は構造的に減少基調
- 加工食品の利益率が低位で伸び悩み
- 海外比率が高く為替変動の影響を受けやすい
- ロシア事業の分離検討など地政学リスク

O — 機会 (Opportunities)

- 価格改定の浸透による収益拡大
- 加熱式Ploom等RRPの市場拡大
- 新興国（EMA）市場の需要増
- 医薬事業譲渡で経営資源をたばこに集中

T — 脅威 (Threats)

- たばこ規制強化・増税リスク
- 喫煙と健康に関する訴訟（カナダ和解等）
- ロシア・ウクライナ情勢の長期化
- 円高進行による海外収益の目減り

現在値7,132円。実績PER・PBR・配当利回りは実数値ベース、52週高値比▲1.2%・安値比+53.3%。

バリュエーション・レンジ分析

現在株価（2026/8/14）

¥7,132

52週高値¥7,218から▲1.2%

1年前比

+49.9%

4,759→7,132円

52週高値からの下落

▲1.2%

7,218→7,132円

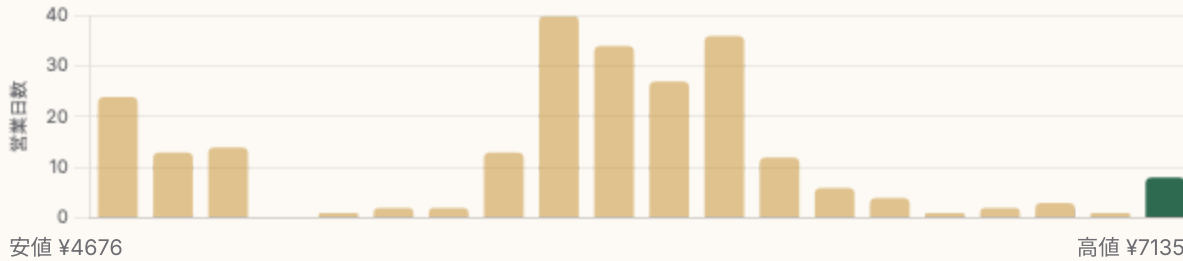
CIO目標株価

¥7,620

上昇余地 +6.8%

株価の分布（過去1年・日次終値）

過去1年、株価はどの水準に何日いたか。山の高いところが長くともった水準です。緑の棒が現在値の位置です。



山が高いところが、この1年で株価が長くともった水準です。現在値7,100円より高かったのは243営業日中3日だけです。（上位1%）

バリュエーション指標の現在位置

指標	過去1年レンジ	現在	位置
予想PER	12.8倍 ~ 19.9倍	19.6倍	高値圏
PBR	1.88倍 ~ 2.92倍	2.87倍	高値圏
配当利回り	3.77% ~ 5.85%	3.83%	安値圏

※ 配当利回りは株価と逆方向に動くため、株価が高値圏の局面では利回りは安値圏になります。 | レンジは過去52週の株価レンジに、現在のEPS・BPS・予想配当を当てはめたもの（過去の実績EPSの変動は反映していない）

短期・中長期の見方

短期：高値圏・過熱気味

- 52週高値¥7,218の直下で推移
- RSI14 68.2とやや過熱
- 各移動平均を上回る強い地合い

中長期：業績・還元で堅調

- 通期上方修正でファンダ良好
- 配当利回り3.81%が下値を支える
- CIO目標株価¥7,620

テクニカル所見

20日・60日・200日線をすべて上回り強い上昇基調。RSI68とやや過熱圏でMACDはプラス継続。

CIO 判断

高値圏だが業績上方修正と高配当が支え。過熱感を踏まえ段階的エントリーを検討し、決算・為替を確認しながらシナリオを再検証する方針。

テクニカル指標

20日線
¥6,756

60日線
¥6,315

200日線
¥5,939

RSI(14)
68.2

MACD
+233.4

アナリスト平均目標¥7,178 (+0.6%)。CIO目標¥7,620はやや強気。

アナリストコンセンサス

CONSENSUS

平均目標株価

¥7,178

現在値

¥7,132

上昇余地

+0.6%

レーティング

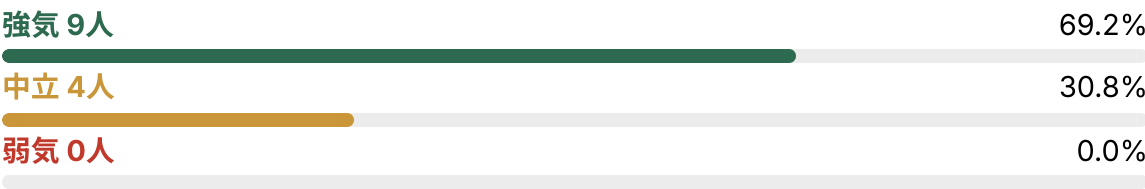
BUY (1.92 / 5)

カバーアナリスト 13人

TARGET RANGE



レーティング内訳



BULL vs BEAR

強気材料

- 価格改定の浸透で中間営業利益+29.0%と好調
- 為替一定ベース調整後営業利益+19.4%と本業が成長
- 通期業績を上方修正し純利益6,440億円へ
- 配当利回り3.81%・FY2026は272円へ増配

弱気材料

- 紙巻たばこの数量は構造的に減少基調
- ロシア事業の分離検討など地政学リスク
- 円高進行で海外収益が目減りする懸念
- たばこ規制強化・増税・訴訟リスクが継続

MOMOTARO CIO VIEW アナリスト平均目標¥7,178（上昇余地+0.6%）に対し、桃太郎CIO目標は¥7,620（+6.8%）とやや強気。会社計画（EPS362.74円）を基準にPER21倍で算出しており、増配と業績上方修正を評価してコンセンサスより上に置いている。

Source: yfinance / As of 2026-08 / Analysts: 13

配当性向75%目安でFY2026は272円へ増配、配当利回り3.81%と高水準。

株主還元方針 | DOE・累進配当

FY2025 配当（実績）

234円

中間104円＋期末130円

FY2026 配当（予想）

272円

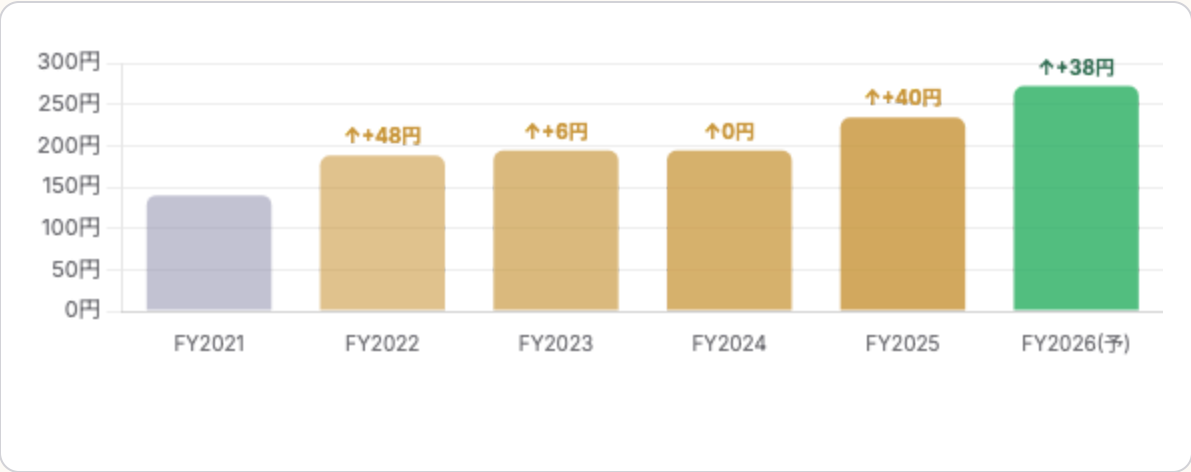
中間136円＋期末136円

配当成長率

+16.2%

FY2025→FY2026予想

配当推移（FY2021→FY2026）



年度	EPS	1株配当	配当性向
FY2024	263.68円	194円	73.6%
FY2025	287.42円	234円	81.4%
FY2026（予）	362.74円	272円	75.2%

📈 配当方針

- 配当性向75%を目安とする株主還元方針
- 業績連動を基本としつつ安定配当を志向
- FY2026は+38円増配で増配基調を継続

💰 自社株買い

本決算短信では新たな自社株買いの公表はなし（信託向け取得のみ）。

🎁 株主優待

株主優待制度は廃止済み。株主還元は配当を中心とする。

★ 重要ポイント

配当利回り3.81%は高水準。増配基調とたばこ事業の安定CFを主なリターン源泉とする高配当株。

EPS×PERモデルでCIO目標¥7,620。市場コンセンサスは参考線として別掲。

投資シナリオ（EPS × PER モデル）

成長ドライバー（強気材料）

- 価格改定：紙巻数量減を補い収益を押し上げ
- 加熱式Ploom：RRP市場拡大で成長ドライバー
- 為替一定ベース調整後営業利益+19.4%：本業が拡大
- 業績上方修正：通期純利益6,440億円（+26.2%）
- 高配当：配当利回り3.81%・配当性向75%目安

主要リスク要因（影響度）

リスク	影響度	主な影響	視覚
たばこ規制・増税	高	数量減・需要抑制	
ロシア事業・地政学	高	分離検討・減損の可能性	
円高進行	中	海外収益の円換算目減り	
訴訟リスク	中	カナダ和解等の追加負担	
喫煙率低下	中	紙巻の構造的數量減	

3つの投資シナリオ（FY2026～FY2027ベース・EPS×PERモデル） | 確率はモデル上の主観確率であり、統計的推定値ではない

市場コンセンサス目標株価（参考線）：¥7,178（アナリスト平均目標）

ブルシナリオ

¥8,470

算出株価（+18.8%）

想定EPS：385円 / 適用PER：22倍

実現確率（主観）

25%

前提：価格改定の一段の浸透+Ploom好調+円安継続

ベースシナリオ（会社計画）

¥7,620

算出株価（+6.8%）

想定EPS：362.74円 / 適用PER：21倍

実現確率（主観）

55%

前提：会社上方修正計画通り・還元方針を維持

ベアシナリオ

¥5,780

算出株価（▲19.0%）

想定EPS：340円 / 適用PER：17倍

実現確率（主観）

20%

前提：ロシア事業リスク顕在化+円高+規制強化

🍑 桃太郎コーポレーション CIO 最終見解

価格決定力に支えられた高収益と高配当は魅力で、通期上方修正はポジティブ。一方で株価は52週高値圏にあり過熱感がある。一括建玉ではなく段階的なエントリー検討とシナリオ再検証を推奨する。CIO目標株価は¥7,620（上昇余地+6.8%）。

DISCLAIMER & DATA SOURCES

免責事項・データソース

01 | 情報提供について

本資料は情報提供のみを目的として作成したものです。特定の有価証券の取得・売却・保有を勧誘・推奨するものではありません。記載された銘柄分析・投資判定・目標株価等は作成者個人の見解であり、特定の投資成果を保証するものではありません。

02 | 投資判断・自己責任原則

投資にかかる最終的な意思決定はお客様ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。価格変動・信用・流動性・為替変動等のリスクを十分ご理解のうえ判断してください。

03 | AI生成データに関する重要事項 重要

本資料に記載されたデータ・数値・分析内容は、AI（人工知能）によって生成・作成されたものです。企業が公表する決算短信・有価証券報告書・IR資料等の現物資料と相違が生じる可能性があります。必ず一次情報をご確認のうえ投資判断はご自身の責任において行ってください。

04 | DATA SOURCES（出典・基準日）

企業一次資料：日本たばこ産業 2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信（IFRS）
（2026年7月30日）

企業一次資料：日本たばこ産業 2026年度第2四半期 決算説明会資料（CFOプレゼンテーション・2026年7月30日）

企業一次資料：日本たばこ産業 2025年12月期 有価証券報告書

企業一次資料：日本たばこ産業 IR情報（公式サイト）

企業一次資料：TDnet／EDINET 開示書類

市場データ：Yahoo! Finance（yfinance経由・日次終値 auto_adjust=False）

市場データ：東京証券取引所（JPX）

市場データ：Yahoo Finance アナリストコンセンサス（yfinance経由）

Market data as of 2026-08-14 close

Financial data as of 2026-07-30 earnings release

桃太郎コーポレーション CIO

対象銘柄：日本たばこ産業（東証プライム 2914） | 公開版

作成日：2026年8月16日